

令和 6 年 6 月 4 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2020～2022

課題番号：20H04482

研究課題名(和文)近代日本の政治エリート輩出における「メディア経験」の総合的研究

研究課題名(英文)Comprehensive Study of "media experience" in the Generation of the Political Elite of Modern Japan

研究代表者

佐藤 卓己 (SATO, Takumi)

京都大学・教育学研究科・教授

研究者番号：80211944

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,700,000円

研究成果の概要(和文)：最終的な研究成果として「近代日本メディア議員列伝」全15巻をまとめた。「政治のメディア化」の問題点を多角的に示せるように、このシリーズ全体で特徴的な「メディア議員」を取り上げている。「政治のメディア化」は政治の論理(理念)をメディアの論理(影響力)が上書きしていくプロセスを意味する。この現象を分析するために、メディア界と政界のグレーゾーンに位置する「メディア議員」は特に注目すべき存在である。この「メディア議員」研究は、メディア社会の政治に対するメディア史的な分析枠組み確立に向けた大きな一歩となると確信している。

研究成果の学術的意義や社会的意義

近代日本の「メディア議員」の研究によって、「政治のメディア化」という現象を具体的に分析する視点が獲得できた。「メディア議員」は世論政治では重要な機能を果たしながらも、これまで政治学でもジャーナリズム学でも十分に研究されることはなかった。特にメディアに「政治権力の監視役」、「不偏不党」、「体制批判」を求めるジャーナリズムの視点からすれば、メディアと政治の境目が無い「メディア議員」はグレーゾーンの存在だからである。しかし、多くの政治家がSNSで情報発信している今日、ほとんどの議員は多かれ少なかれ「メディア議員」となっている。本研究により現代社会を分析する新たな視角を確立することができた。

研究成果の概要(英文)：The final result of this research project is the 15-volume "Biographies of Media Legislators in Modern Japan". In order to demonstrate the problem of "mediatization of politics" from various perspectives, the series as a whole focuses on distinctive "media legislators". The "mediatization of politics" refers to the process in which the logic of politics is overridden by the logic of the media. To analyze this phenomenon, "media legislators," who are located in the gray zone between the media world and the political world, deserve special attention. We believe that this study of "media legislators" is a major step toward establishing a media-historical analytical framework for the politics of media society.

研究分野：メディア文化学

キーワード：メディア議員 政治のメディア化 歴史社会学 ジャーナリズム史 政治史 メディア経験 輿論 世論

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

(1) 本研究は、2015-2017 年度基盤研究(B)「「メディア出身議員」調査による新しいメディア政治史の構想」(15H02792)の成果である佐藤卓己・河崎吉紀編『近代日本のメディア議員「政治のメディア化」の歴史社会学』(創元社・2018年)の計量データの分析の実績の上に、近代日本におけるメディア出身の政治エリート以下では「メディア議員」と呼ぶの「メディア経験」の類型化を行う目的でスタートした。

(2) 研究代表者・佐藤卓己にはすでに「メディア議員」研究として『天下無敵のメディア人間 喧嘩ジャーナリスト・野依秀市』(新潮社・2012年)その文庫版『負け組のメディア史 天下無敵 野依秀市伝』(岩波書店・2021年)という研究成果があり、こうした「メディア議員」の質的分析を体系的に行うことで「政治のメディア化」mediatization of politics 現象を人文社会科学情報学の枠組みにおいて構造的に解明することをめざした。

2. 研究の目的

「メディア議員」とは、「メディア経験をもつ代議士」あるいは「議席をもったジャーナリスト」である。新聞社、雑誌社、放送局などメディアでの経験を足場に政治家となった「メディア議員」の計量分析および集团的考察(佐藤卓己・河崎吉紀編『近代日本のメディア議員「政治のメディア化」の歴史社会学』創元社・2018年を参照)をふまえて、「メディア議員」の日本の特性とその政治的影響を明らかにすることで、日本近現代史における「政治のメディア化」を明らかにすることを目的としている。

「政治のメディア化」とは政治が価値や理念の実現(政治の論理)ではなく、効果や影響力の最大化(メディアの論理)で展開されていく状況を意味する。その状況を体現するのが「メディア議員」と言えるだろう。満洲事変から太平洋戦争までの時期の衆議院で「メディア議員」は全議席の3割を超えており、政治史においても大きな意義を持つ研究となる。

3. 研究の方法

近代日本の「メディア議員」では新聞出身の議員が圧倒的に多く、新聞ジャーナリストの研究も質量ともに厚いため、本研究では特にジャーナリズム史と政治史の先行研究を精査した。また同時代の新聞や雑誌の記事に加えて、日記、回想、評伝などの史資料から、「メディア議員」の教育期、就業期および政治活動期における「メディア経験」を明らかにし、そのメディア観や「輿論/世論」観の変化を分析する。

これにより教育メディア権力の三者関係から「政治のメディア化」の日本の特質を構造的に解明することが可能になる。これは従来のエリート研究や学歴研究、あるいは教育史や政治史にもなかった独自の視点からのアプローチである。

4. 研究成果

(1) 最大の研究成果は、研究代表者、分担者、協力者が各自一冊を担当した「近代日本メディア議員列伝」全15巻(創元社・2023年6月~2026年1月完結予定)の刊行である。全巻の構成は以下の通りである。

第1巻・片山慶隆『大石正巳の奮闘：自由民権から政党政治へ』2025年7月予定

第2巻・井上義和『降旗元太郎の理想：名望家政治から大衆政治へ』2023年11月刊

第3巻・河崎吉紀『関和知の出世：政論記者からメディア議員へ』2024年3月刊

第4巻・戸松幸一『古島一雄の布石：明治の俠客、昭和の黒幕』2025年9月予定

第5巻・白戸健一郎『中野正剛の民権：狂狷政治家の矜持』2023年12月刊

第6巻・佐藤卓己『池崎忠孝の明暗：教養主義者の大衆政治』2023年6月刊

第7巻・赤上裕幸『三木武吉の裏表：輿論指導か世論喚起か』2024年1月刊

第8巻・佐藤彰宣『石山賢吉の決算：ダイヤモンドの政治はあるか』2024年11月予定

第9巻・福岡良明『西岡竹次郎の雄弁：苦学経験と「平等」の逆説』2024年7月予定

第10巻・石田あゆ『神近市子の猛進：婦人運動家の隘路』2025年3月予定

第11巻・松尾理也『橋本登美三郎の協同：保守が夢見た情報社会』2024年5月刊

第12巻・松永智子『米原昶の革命：不実な政治か貞淑なメディアか』2025年1月予定

第13巻・山口仁『田川誠一の挑戦：保守リベラル再生の道』2024年9月予定

第14巻・長崎励朗『上田哲の歌声：Why not protest?』2025年5月予定

第15巻・河崎吉紀『近代日本メディア議員人名辞典・付総索引』2026年1月予定

(2)この「近代日本メディア議員列伝」は、「政治のメディア化」という本研究テーマに直結する問題意識から企画された評伝シリーズである。近代日本の「メディア議員」としては、原敬(『大東日報』主筆)、犬養毅(『郵便報知新聞』記者)、加藤高明(『東京日日新聞』社長)、石橋湛山(『東洋経済新報』社長)など首相経験者も少なくない。そうした大物よりも、「政治のメディア化」の多様な問題点を多角的に示せるように特徴的な「メディア議員」を選んだ。シリーズ全体としてメディア社会に生きる私たちの現代政治への向き合い方に役立つものと確信している。

(3)この成果によって、なぜこれまで「メディア議員」の研究がほとんど行われてこなかったか、その理由が明らかになった。政治学の視点では、理念よりも影響力を重視する政治はポピュリズム(大衆迎合主義)であり、それを体現する議員はまともな政治家とはみなされない。ジャーナリズム学の視点では、その扱いはさらに困難だった。メディアに「権力の監視役」、「不偏不党」、「体制批判」を求めるなら、メディアと政治の境目が無い「メディア議員」はグレーゾーンの存在だからである。しかし、今日私たちが目にする政治家はSNSで日々刻々と情報を発信しており、その多くは理念よりも影響力を重視している。そうしたウェブ活動を経て当選した今日の議員は、多かれ少なかれ「メディア議員」なのである。

参考資料:「近代日本メディア議員列伝」全15巻 内容紹介パンフレット(以下は電子版)
<https://www.sogensha.co.jp/special/kindainihonmediagiinretsuden/>



5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計62件（うち査読付論文 13件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 39件）

1. 著者名 佐藤卓己	4. 巻 第8号
2. 論文標題 「メディア議員」池崎忠孝（1891～1949年）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 15-42
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14989/KJMH_8_15	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐藤卓己	4. 巻 197号
2. 論文標題 政治家・池崎忠孝 メディア議員の光と影	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 J2TOP（時事通信社）	6. 最初と最後の頁 15-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井上義和	4. 巻 第8号
2. 論文標題 普選実現に尽力した名望家・降旗元太郎	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 117-128
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14989/KJMH_8_117	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 河崎吉紀	4. 巻 第6号
2. 論文標題 メディア議員の出世 関和知と『新総房』を例に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 16-38
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14989/KJMH_6_16	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 河崎吉紀	4. 巻 第134号
2. 論文標題 国民党の若手代議士 関和知と閩族打破	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 評論・社会科学	6. 最初と最後の頁 21-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00027617	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河崎吉紀	4. 巻 第136号
2. 論文標題 学校歴から政治力への転換 大隈重信政権下の副参政官・関和知を例に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 評論・社会科学	6. 最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00028072	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河崎吉紀	4. 巻 第137号
2. 論文標題 閩族打破から国民教育へ 憲政会所属議員・関和知の不安	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 評論・社会科学	6. 最初と最後の頁 85-117
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00028364	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河崎吉紀	4. 巻 2021年6月号
2. 論文標題 歴史から見た広義の「ジャーナリズム」 アマチュアの復権と職業の危機	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journalism	6. 最初と最後の頁 16-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河崎吉紀	4. 巻 第139号
2. 論文標題 憲政会幹事長の政治演説 原敬内閣期における関和知	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 評論・社会科学	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00028798	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河崎吉紀	4. 巻 第8号
2. 論文標題 普通選挙運動における「独立の生計」 憲政会総務・関和知の立場	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 73-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/KJMH_8_73	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河崎吉紀	4. 巻 第141号
2. 論文標題 憲政会総務のメディア・パフォーマンス 「弾劾演説家」関和知の政治活動	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 評論・社会科学	6. 最初と最後の頁 1-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00028943	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河崎吉紀	4. 巻 第142号
2. 論文標題 アメリカ帰りのメディア議員 関和知の留学経験と排日運動	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 評論・社会科学	6. 最初と最後の頁 39-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00029248	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 河崎吉紀	4. 巻 第143号
2. 論文標題 第二次憲政擁護運動と国民の政治参加 憲政会の闘将・関和知の最期	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 評論・社会科学	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14988/00029496	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 福間良明	4. 巻 第8号
2. 論文標題 西岡竹次郎と「理念」「実利」の錯綜 格差と弁論のメディア文化史	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 43-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/KJMH_8_43	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 片山慶隆	4. 巻 第50号
2. 論文標題 第一次世界大戦と日本の平和主義 大日本平和協会の動向を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 メディア史研究	6. 最初と最後の頁 76-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 片山慶隆	4. 巻 第8号
2. 論文標題 大石正巳研究の現状と課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 129-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/KJMH_8_129	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 片山慶隆	4. 巻 第39巻
2. 論文標題 大石正巳の日英同盟論	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 近代日本研究	6. 最初と最後の頁 99-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山口仁	4. 巻 第6号
2. 論文標題 ジャーナリズム研究の構築に必要な視座 佐藤卓己・河崎吉紀編『近代日本のメディア議員』の書評に代えて	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 133-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/KJMH_6_133	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山口仁	4. 巻 第8号
2. 論文標題 政治家・田川誠一を考察するための視点 「政治の」でも「メディアの」でもない「論理」についての仮説	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 149-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/KJMH_8_149	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山口仁	4. 巻 第9号
2. 論文標題 自民党単独政権の終了とメディア 新自由クラブに関する報道の展開	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 89-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/KJMH_9_89	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松尾理也	4. 巻 第8号
2. 論文標題 情報化社会論と戦後政治 橋本登美三郎の事跡をてがかりに	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 241-257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/KJMH_8_241	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 赤上裕幸	4. 巻 第8号
2. 論文標題 三木武吉研究序説	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 165-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/KJMH_8_165	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 白戸健一郎	4. 巻 第8号
2. 論文標題 中野正剛における修養と個性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 209-223
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/KJMH_8_209	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松永智子	4. 巻 第8号
2. 論文標題 「メディア議員」米原昶 (1909~1982年)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 193-207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/KJMH_8_193	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松永智子	4. 巻 第9号
2. 論文標題 「メディア議員」米原昶（1909～1982） 地下活動のパトロン、一高時代の「親友」をめぐって	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 115-129
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14989/KJMH_9_115	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石田あゆ	4. 巻 第8号
2. 論文標題 神近市子にみる青鞥・恋愛・自己形成 ジャーナリスト型女性政治家の「受難」人生	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 101-115
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14989/KJMH_8_101	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 石田あゆ	4. 巻 第9号
2. 論文標題 神近市子にみる女性文芸誌メディアの変遷 『女人藝術』から『婦人文藝』、そして『新女苑』へ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 67-88
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14989/KJMH_9_67	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 長崎励朗	4. 巻 第8号
2. 論文標題 メディア政治家・上田哲の足跡	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 181-192
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14989/KJMH_8_181	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 佐藤彰宣	4. 巻 第8号
2. 論文標題 石山賢吉にとっての専門性と大衆性	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 225-239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/KJMH_8_225	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 戸松幸一	4. 巻 第8号
2. 論文標題 古島一雄の尊敬する「政界の四先輩」 三浦梧楼・杉浦重剛・犬養毅・頭山満 戸松幸一	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 京都メディア史研究年報	6. 最初と最後の頁 259-274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/KJMH_8_259	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計7件 (うち招待講演 3件 / うち国際学会 0件)

1. 発表者名 佐藤卓己・井上義和・白戸健一郎
2. 発表標題 「政治の論理」と「メディアの論理」の交錯 「近代日本メディア議員列伝」から考察する「政治のメディア化」
3. 学会等名 日本メディア学会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 河崎吉紀
2. 発表標題 ジャーナリストと政治家の分岐
3. 学会等名 東アジア藝文書院・ジャーナリズム研究会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山口仁
2. 発表標題 ジャーナリズムの未来を語る方法論としてのメディア史（ワークショップ討論者）
3. 学会等名 日本マス・コミュニケーション学会2021年秋季大会（オンライン開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松尾理也
2. 発表標題 ジャーナリズムの未来を語る方法論としてのメディア史（ワークショップ問題提起者）
3. 学会等名 日本マス・コミュニケーション学会2021年秋季大会（オンライン開催）
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計23件

1. 著者名 佐藤卓己	4. 発行年 2023年
2. 出版社 創元社	5. 総ページ数 544
3. 書名 池崎忠孝の明暗 教養主義者の大衆政治（近代日本メディア議員列伝・6巻）	

1. 著者名 井上義和	4. 発行年 2023年
2. 出版社 創元社	5. 総ページ数 350
3. 書名 降旗元太郎の理想 名望家政治から大衆政治へ（近代日本メディア議員列伝・2巻）	

1. 著者名 河崎吉紀	4. 発行年 2024年
2. 出版社 創元社	5. 総ページ数 392
3. 書名 関和知の出世 政論記者からメディア議員へ (近代日本メディア議員列伝・3巻)	

1. 著者名 松尾理也	4. 発行年 2024年
2. 出版社 創元社	5. 総ページ数 404
3. 書名 橋本登美三郎の協同 保守が夢みた情報社会 (近代日本メディア議員列伝・11巻)	

1. 著者名 赤上裕幸	4. 発行年 2024年
2. 出版社 創元社	5. 総ページ数 480
3. 書名 三木武吉の裏表 輿論指導か世論喚起か (近代日本メディア議員列伝・7巻)	

1. 著者名 白戸健一郎	4. 発行年 2023年
2. 出版社 創元社	5. 総ページ数 424
3. 書名 中野正剛の民権 狂狷政治家の矜持 (近代日本メディア議員列伝・5巻)	

〔産業財産権〕

〔その他〕

佐藤卓己「メディア政治家の結果責任」信濃毎日新聞、2023年5月6日

創元社オンラインイベント【刊行記念オンライン対談】

佐藤卓己×與那覇潤「ことばと政治 メディア議員から見える近代日本」2023年7月3日

井上義和×有山輝雄「地方青年名望家から「つなく」メディア政治家へ」2024年2月5日

白戸健一郎×大澤聡「中野正剛とはなんだったのか？ 公論・アジア・メディアのゆくえ」2024年3月19日

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	井上 義和 (INOUE Yoshikazu) (10324592)	帝京大学・共通教育センター・教授 (32643)	
研究分担者	河崎 吉紀 (KAWASAKI Yoshinori) (30388037)	同志社大学・社会学部・教授 (34310)	
研究分担者	福間 良明 (FUKUMA Yoshiaki) (70380144)	立命館大学・産業社会学部・教授 (34315)	
研究分担者	片山 慶隆 (KATAYAMA Yoshi taka) (40436746)	関西外国語大学・英語国際学部・教授 (34418)	
研究分担者	山口 仁 (YAMAGUCHI Hitoshi) (50596393)	日本大学・法学部・教授 (32665)	

6. 研究組織 (つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	松尾 理也 (MATSUO Michiya) (80804799)	大阪芸術大学短期大学部・メディア・芸術学科・教授 (44429)	
研究分担者	赤上 裕幸 (AKAGAMI Hiroyuki) (30610943)	防衛大学校(総合教育学群、人文社会科学群、応用科学群、電気情報学群及びシステム工学群)・人文社会科学群・准教授 (82723)	
研究分担者	白戸 健一郎 (SHIRATO Kenichiro) (80737015)	筑波大学・人文社会系・准教授 (12102)	
研究分担者	白戸 智子(松永智子) (MATSUNAGA Tomoko) (60735801)	東京経済大学・コミュニケーション学部・准教授 (32649)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	石田 あゆう (ISHIDA Ayuu) (70411296)	桃山学院大学・社会学部・教授 (34426)	
研究協力者	長崎 励朗 (NAGASAKI Reo) (30632773)	桃山学院大学・社会学部・准教授 (34426)	
研究協力者	戸松 幸一 (TOMATSU Koichi) (14301)	京都大学・教育学研究科・博士課程 (14301)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	佐藤 彰宣 (SATO Akinobu)	流通科学大学・人間社会学部・講師 (34522)	
研究協力者	趙 相宇 (CHO Sangwoo) (40906806)	立命館大学・産業社会学部・助教 (34315)	
研究協力者	彭 永成 (PENG Yongcheng)	桃山学院大学・社会学部・講師 (34426)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関